

| 課題番号 | 研究課題名 | 研究代表者 | 評価結果 |
|---|----------------------------------|--------------------------------|------|
| 16100006 | MR画像による生体内標識幹細胞の無侵襲追跡技術と再生医療への応用 | 犬伏 俊郎 (滋賀医科大学・MR医学総合研究センター・教授) | B |
| <p>本研究では、MR 標識神経幹細胞のラット線条体移植後のイメージング、アルツハイマー病ラットモデルでのβアミロイド蓄積の MR 画像化、シリカ被覆磁気ビーズ標識 PC12 細胞のラット脳移植後の MR イメージング、シリカ被覆磁気標識の開発、近赤外蛍光イメージングと MRI との組み合わせによる HTC116 腫瘍細胞のラット後肢筋内移植イメージングなど、MR 分子イメージング開発のための基礎的な知見が得られた。しかし、本研究の当初の重要な目的、すなわち「ES 細胞に鉄粒子を磁気標識として導入し、生体内での ES 細胞の活性を追跡すること」は達成されなかった。</p> | | | |